

不二速報



発行日 2005年8月1日

第4号(第2回団体交渉報告・大畑さん退職記念祝賀会報告号)

第2回 団体交渉結果速報

2005年度第2回団体交渉が行われました。

7月28日第2回団体交渉が行われました。大学側の出席者は、渡辺総務担当理事、佐藤財務担当理事、佐久間事務局長、立原総務部長、その他人事労務課長、補佐、係長。組合からは三役はじめ15名が出席しました。

★パート職員の賃金引き下げ、来年度は実施せずと表明

再三団体交渉の場などで言われてきた、パート職員の賃金格差を引き下げにより是正するという問題ですが、渡辺理事から、平成15年度までに採用されたパート職員の賃金引き下げを、平成18年度は行わないことが表明されました。

★パート職員の雇用継続、実質的な退職強制には大学として対応を確約

渡辺理事、佐久間事務局長から、平成15年度までに採用されたパート職員については、雇用確保に努めたい、また、退職が実質的強制にあたる場合は許されないと回答がありました。佐藤理事からも、そのようなことがないよう部局長には注意を促しているし、今後も同じであるという発言がありました。

★パート職員の夏期休暇、今年度も2日

残念ながらこの課題では具体的な成果はなく、パート職員の勤務日数・勤務時間の実際に則して、来年度に向けて検討を約束するにとどまりました。

★教職員給与の引き下げ問題、安易な人事院勧告準拠はしないことを表明

佐藤理事から、引き下げの人事院勧告が出て、そのままスライドするという対応はしない、また、東西間の格差を拡大したり、教員と職員の間には格差をつけないことも表明されました。ただ、財政当局の対応をはじめ状況は厳しい旨の説明がありました。

これらの点も含めて、団体交渉の詳しい経過は次号でご報告します。

執行部としては、今回の団体交渉の最大の課題と位置づけたパート職員の賃金、労働条件問題で一定の成果があったものと評価しています。今後こうした成果を結実させ、他の課題でも前進すべく活動に取り組みますので、組合員の皆さんからのご意見など、ぜひ書記局までお寄せください。

静岡大学教職員組合

静岡：

〒422-8529

静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:

054(236)0173 (直)

054(237)1111 (代)

2790 (内線)

E-mail

suu@jade.dti.ne.jp

浜松：

〒432-8561

浜松市城北三丁目 5-1

TEL/FAX:

053(475)9035 (直)

3910 (内線)

E-mail

suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

目次：

団体交渉報告	1
大畑さん祝賀会	2~4
組合からのお知らせ	4

大畑好子さん退職記念祝賀会報告

さる7月2日に、本年3月末で組合専従書記局員（04年度組合規則改定により「書記」から職名称変更）を定年退職された大畑好子さんの退職記念祝賀会を開催しました。当日は80名を超える組合員、元組合員が参加する盛大な会で、終始和やかに、そしてにぎやかにお祝いをしました。

大畑さんは1968年に静岡大学教職員組合の書記に着任し、以来37年間文字通り静大教職員組合の大黒柱として組合活動を支えてくれました。



祝賀会は委員長経験者で元学長の加藤一夫さんの祝辞で始まりました。会のクライマックスは、大畑さん着任から退職に至るまでの思い出の出来事を、書記局に大切に保存されていた写真を編集したスライドの上映と、思い出話の数々でした。

思い出話の最初に登場したのは、大畑さんにとっては最初の「上司」である68年度書記長の平野克明さん。組合が非常に元気に活動していた時代を熱く語って頂きました。他にも多くの方の思い出話が次から次へと出てきて、まさに話は尽きませんでした。そのスピーチの間にも、もう一つ大畑さんらしいエピソードが生まれました。次々と壇上に登場する元委員長、書記長の面々がマイクの扱いにとまどっているとすかさず大畑さんが駆け寄ってお手伝いをされていました。最後まで気配りされている姿にこれで引退とは返す返すも残念に思われました。

最後に、大畑さんから組合員・元組合員の皆さんへのご挨拶をいただき、無事散会となりました。そして有志があらためて大畑さんを囲んで二次会へ。大畑さんにとって、仕事の終わりというより、新たな人生へのリフレッシュの機会として頂けたのではないかと思います。

最後に、会に参加された皆さん、ご寄付をいただいた皆さん、そして会の準備にご協力頂いたOBを含む実行委員の皆さんに感謝を申し上げます。

笹沼弘志（大畑さん退職祝賀会実行委員、04年度書記長）

以下は祝賀会出席者の方々から大畑さんへのメッセージです。

《新任の頃の思い出》

大畑さん、長い間、組合の専従書記として勤められ、ご苦労様でした。新任の書記として大畑さんをお迎えすることになったのは、68年4月、前任者、堀口侑子さんのご推薦によるもの（静大教職組『組合の三十年』）で、また、法短支部の吉岡幹夫さんのご紹介によるものでもありました。

当時、人文学部の前身である文理学部に所属し、書記長を勤めることになっていたので、組合活動を共に行うことになりました。なお、文理、教育学部そして本部の建物は、大岩町にあり、旧制静岡高等学校の古びた木造建物の一角に組合書記局があり、最初の出会いといえば、その部屋であったように思います。大畑さんの新任の記事は、当時の組合機関紙「不二」に、「二月中旬から書記局に出て、堀口さんから実務を教わっている。23才の快活なお嬢さん」と掲載されています（102号）。

当時の大学の状況、教職組の周辺といえば、66年は、「大学の統合移転二年目を迎えた年であり、大学の合理化、再編成進行のなかに種々の矛盾をかかえ、大岩地区から大谷地区への総合移転のたけなわにありました。組合問題以外にも、騒然とした事態（大学紛争、大会決議案採択不能など）が発生したこともありました。大畑さんとしては、当時、初めての仕事を体験して、最初の職場で種々苦慮されたこと、また、判断しかねるこ



平野 克明

となどご苦労だったことが起きたのではなかったかと想い起こしています。楽しかったことをいいますと、その後のこととなりますが、「スキーの集い」を挙げないわけにはいきません。大変お世話になりましたが、却って気苦労があったのではないのでしょうか。専従書記として、37年もの間、大変ご苦労様でした。新たな人生をゆっくりお過ごし下さい。

堀口 侑子

はじめて大畑さんにお会いしたのは1964年春、当時書記長の吉岡幹夫先生に紹介されました。小柄で愛らしく控えめなお嬢さんでお琴もたしなむとか。私は県教組で「勤評闘争」「三池闘争」「安保闘争」と経験し筋金入りの闘士とひそかに自認していたので、「エッそんなんですかー」という思いがあったことをここに告白します。そして大好きなこの職場を失う淋しさをかみしめたことでした。それから長い時がたち、私は外野から大畑さんのすばらしさをみせて頂くことになりました。大畑さんのやわらかな受容の力、忍耐力、強靱な精神、やさしさ等々。

「桜が見頃よ」「公孫樹が色づきました」とキャンパスに招いてくださった大畑さん。秋のイモ掘り祭りも仲間に入れていただきOBの方々とお会いできるチャンスを与えて頂き、楽しい交流がつつきました。本当に感謝します。これからはシニアの会でよろしく。お互いに夢に向かって…



《総括と会計報告》

去る7月2日（土）に、37年の永きに渡って書記を勤めてこられた大畑さんの退職をお祝いする会が80名近い現役・OB組合員参加の下、盛大にかつ和やかに開催されました。祝賀会は、新書記の山口さんにエスコードされて入場された大畑さんを参加者一同の拍手で迎えることで始まり、笹沼、米野両氏の司会の下、鳥畑祝賀会実行委員長の開会挨拶、加藤一夫氏（72年度執行委員長、元学長）の祝辞、谷現委員長の乾杯音頭、歓談の一時を経て、祝賀会企画「スライドで語る大畑書記と静大教職員組合の歩み」（新井映子・菅野文彦実行委員製作）で大いに盛り上がりました。菅野氏のナレーション・司会の下、①68年の赴任から70年代、②80年代、③90年代、そして④21世紀の退職時までの組合秘蔵（死蔵）のとおき写真をスライド映写しながら、共に活動した仲間に、大畑さんの思い出、活躍ぶり、人柄を大いに語ってもらいました。平野克明、上杉忍、芳賀直哉、吉村西部書記、久保英雄の各氏から、各年代ごとに写真解説を織り交ぜながら、闘いの中でいつも組合運動の支えであった大畑書記の思い出が笑いの絶えないなかに語られました。同時に、静大教職員組合の築き上げてきた歴史の重みや役割の大きさを再確認する場となりました。



さらに語りつくせない方のための企画「私と好子のとおき話」でも、金田利子、橋本誠一、三橋良士明、居城弘、堀口侑子（大畑さんの前任者）、小坂橋道代、金井省二、山本義彦、勝野広宣、中西光広、伊藤敬、山下光司、笹原恵の各氏から、短歌での思い出話、オアシスのようであった書記局の思い出、そして大畑さん採用時の思い出などが語られ、途中で全員での「組合歌」の斉唱などあっという間に時が過ぎていきました。語りつくせぬ話は二次会に譲ってもらって、いよいよ大畑さんへの花束と記念品の贈呈、そして最後に大畑さんから、個性豊かな多くの仲間との出会いのなかで自分自身が成長し多くの財産を築き上げてこられたことへの感謝、今後はシニア会で組合との縁を続けていくことなどが語られました。最後にOBとして祝賀会実行委員会を担って来られた林弘文氏（92年度執行委員長）より思い出たっぷりの閉会の辞が述べられ、全員での記念写真の後、祝賀会の終了となりました。

祝賀会実行委員会の立上げは本年1月と遅れ、諸般の事情から祝賀会開催日が7月になってしまいました。多くの方々の御協力のおかげで、祝賀会を成功させることができました。200名近い方からお祝いのお言葉を頂き、祝賀会には参加できない方々からも100名近い方から記念品代を頂きました。計176名から頂いた記念品代は50万6500円に達し、旅行券+おこづかいとして大畑さんにお贈りすることができました。改めて感謝申し上げますと共に報告とさせていただきます。

鳥畑興一（大畑さん退職祝賀会実行委員会代表、04年度執行委員長）



静岡大学教職員組合公式HPもご覧ください。

<http://www.jade.dti.ne.jp/~suu/>

組合員のための組合

あなたも組合に加入しませんか！



毎日暑いですね。
夏ばてなどしないように、
気をつけましょう。

夏休み期間中、書記局へおこしの
際は、まずご連絡いただけますと
ありがたいです。

《大畑さん退職記念祝賀会会計報告》

収入		支出	
会費			
4500円×79人	355,500	祝賀会経費	366,500
記念品代等	506,500	祝賀会準備経費	15,505
(祝賀会参加者 78人	205,500)	旅行券	50,000
(祝賀会不参加者 98人	301,000)	記念品代	444,095
中島屋サービス券	10,000		
雑収入	4,100		
合計	876,100	合計	876,100

組合からのお知らせ

☆第1回代表委員会について☆

第2回団体交渉に向けて7月21日第1回代表委員会が行われました。

出席代表委員16名/21名中。

議題：第2回団体交渉及び要求書について

書記長から団体交渉要求書に基づき執行部の方針の説明があり、意見交換した。

非常勤職員の事実上の雇い止めの実態、常勤職員と非常勤職員の業務内容一括りに同等と言えるか否か、教職員のメンタルヘルスとそのケアに注意を払うべき、交渉内容について当局側と確認書を取り交わすべき、などの意見が出された。

最後に、書記長から団体交渉についての出席・協力依頼があった。

☆パート職員ランチミーティングを行いました☆

参加者は静岡8名、浜松8名の計16名でした。日ごろ口に出せない不安や疑問を、存分に仲間たちと共有できたのではないのでしょうか。

組合ではまたこのような場を計画していきます。

今回参加できなかった組合員の方も未組合員の方も、奮ってご参加ください。

☆7/27西部三部局長交渉を行いました☆

☆中部ブロック技術職員交流会開催のお知らせ☆

日時 2005年8月27日(土) 13:30開始
～8月28日(日) 11:30終了

場所 サンレイク美浜

浜名郡舞阪町弁天島3802 電話 053-592-2200

議題(案) 法人化後の組織・改組 職名処遇等

昇格・昇給状況 管理評価(人事評価)

